

WADAIKO 遙 TOKARA

2013年6～7月

TOKARA 公演情報

2013年

- 8月1～26日: 風越～スコットランド エディンバラフリンジ祭,
会場 C too Mainhouse, Edinburgh
- 10月19～24日: ジャパンウィーク～ポーランド ポズナン
会場 Teatr Wielki オペラ座

2014年

- 5月2日(金): 風越～カナダ ケローナ
- 6月28日(土): 風越～長野県 飯田市 幸い下伊那和太鼓フェスティバル
会場 飯田市公民館
- 7月6日(日): 風越～愛知県 名古屋市 会場 名古屋市北文化小劇場
- 25日(金): 風越～長野県 伊那市 会場 いなっせ
- 26日(土): 風越～岐阜県 高山市 会場 高山市芸術堂
- 27日(日): 風越～岐阜県 群上市 会場 日本まん真ん中センター

いざ！日本公演と集中合宿！！

～和太鼓の世界に魅せられて～

6月、一ヶ月間のイギリスツアーを終えた私達は、休む事なく、早速練習を始めます。イギリスの上着が必要な程の寒さから、日本の驚くほどの暑さを体感し、早くもイギリスが恋しくなりました。

そして6月の8日。愛知県は小牧市、味噌市民センターで、私達はアンサンブルリベルタの皆さんと一緒にコラボレーションコンサートを行わせて頂きました。小牧山城が今年で築城200年を迎えたというテーマで行いました。演奏曲目はバラード調のものからアップテンポの曲、大太鼓のソロもあれば早さが勝負の「剣の舞」などまでバラエティに富んだ内容でした。会場は終始温かい雰囲気、演奏途中で拍手を頂いたり掛け声を掛け

て頂いたり、会場が一体となって盛り上がりました。お客様も演奏者も皆で一緒に楽しくなる、それが何より嬉しく思います。

さてさてそのまた次の日は、岐阜県の中津川市でコンサートです。中津川市の東美濃ふれあいセンターという所には立派なコンサートホールがあり、今回初めてそちらで演奏をさせて頂きました。前日に引き続きリベルタの皆さんの軽快なトークと和洋折衷の音楽で会場は大盛り上がり！あの楽しい雰囲気は皆さんならではのものですね。リベルタの皆さんありがとうございました。(小野澤 貴史 著)



6種類の異なる音がコラボレーション！



コースの皆で決めポーズ！キメッ！

2週間の力~伊那谷和太鼓コース

6月17日。私たちTOKARAが主催する和太鼓の合宿、「伊那谷和太鼓コース」が始まりました。9回目の今年は、飯田市民館を会場に、世界各地から14名の参加者がこの伊那谷に集まりました。太鼓をこよなく愛するばかりに、アメリカ、カナダ、ベルギー、ドイツ、南アフリカ、オーストラリアから、はるばる来飯された皆さんで

す。参加者の皆さんは、コースのある2週間の間、阿智村昼神温泉郷の旅館に宿泊し温泉を満喫しつつ、朝は10:00から午後4:00までみっちりと和太鼓の基礎基本から様々なスタイルまで学んで行きます。また、期間中には石川県の太鼓工場「浅野太鼓」や、愛知県東栄町を拠点に活動される「志多ら」の道場を訪れ、交流やワークショップを楽しみました。週末には馬籠宿・妻籠宿を観光し、琴や尺八のワークショップ、ミニコンサートの鑑賞...コース終了時には、



浅野太鼓店でワークショップ！



志多らの皆さんと一緒に、お疲れ様でした。

で、西洋の皆さんにとって特に難しい事...これが「腰を落とすこと」なのです。椅子とベッドの生活スタイルに加え、背が高くて足の長い西洋の皆さんにとって「一番」難しい事...と言っても過言ではありません。そこで課題克服の為、毎日朝の"打ち込み"練習に使った曲が、三宅島に伝わる「三宅」。打ち込み練習とは、同じリズムを繰り返し長い時間打ち続けるものです。長ければ1時間程止まりません。忍耐力と

幸い下伊那和太鼓フェスティバルに参加し、自らも2週間の練習の成果を発表します。私が言うのも変ですが、何とも盛り沢山な2週間です。参加者の皆さんも日々増していく筋肉痛と闘いながら、毎日気合十分に参加してくださいました。太鼓と向き合う充実した時間が過ごせた様です。

さて、海外の皆さんと和太鼓を勉強する時、特に課題になる太鼓の基礎があります。何だと思われますか？太鼓を叩く上



琴、尺八ワークショップ！音が出ない～



三宅 "打ち込み"！重心をおとして！

んの腰が低く入るようになったのです!! 継続は力なり!!とは本当にこのことです。今回参

精神力を養う過酷な(しかし、私たちがこよなく"愛する")練習です。そしてこの「三宅」。足を左右にがっちり開き体の重心をしっかりと落として地面すれすれに横に据え置いた太鼓を真横から打ち込みます。足腰の強さが求められるこのスタイル。この伊那谷和太鼓コースの2週間、参加者の皆さんはしっかりと打ち込み練習を続けることが出来ました。そして私たちも目を見張る成果が!!!!!! 何と日に日に皆さ

加された皆さんが自国に帰られてから本当の意味でのトレーニングが始まるのではないかと思います。また私たちも近い将来、機会が有りましたらそんな皆さんを訪れてみたいと思っています。(いちせゆかり著)

「火霧」から「炎」へ
~幸い下伊那和太鼓フェスティバル~
熱いステージ繰り広げ



開場前に準備準備♪

いる皆さんを招待し一緒にフェスティバルを楽しんで頂きたい。一般にコンサートでは未就学児はご遠慮願いますと言われがちですが、赤ちゃんから老若男女全ての皆さんと一緒に楽しみたい…。色々な願いが込もった“幸い”下伊那の名前です。今年8回目を迎え、やっとこの名前とイベントが定着してきた様に感じます。今年は、午前中の「幸いフリンジ」のステージに海外からチャンスミーティングズ、伊那谷和太鼓コースの皆さん、地元から和太鼓花の木組、常盤太鼓「心」、酔鼓、なでし鼓の計6団体の皆さんが演奏を披露して下さいました。



下から上に！ 今度はとんばね！

伊那谷和太鼓コース最終日、6月29日。土曜日。この日は「幸い下伊那和太鼓フェスティバル」が開催される日です。通称「幸い下伊那」...和太鼓を通して、飯田下伊那の皆さんが幸せだな~と感じて欲しい…。私たちがツアーで訪れた日本各地、世界各国で出会った皆さんを飯田に招きフェスティバルで演奏を披露して頂きたい。飯田下伊那の福祉施設等を利用されて



開店、その名も遙店(はるかてん)!!



皆さん練習の成果を発揮します。

え、後半には太鼓の周りをクルクル廻って移動します。...我らがリーダーのアーティストは、どうしてこんなに難しい曲を創ったのでしょうか!? メンバー泣かせな素敵な曲です。今回初めて演奏するメンバーとの再演でしたが...いかがだったでしょうか...まだまだ精進して励みます。

さてさて、コンサートは、

「MIZUKAGAMI」「天地神明」「波頭の響き」と続き、いよいよ第二部に。ドレスの様な真紅の衣装で現れた「炎太鼓」の登場に、しかも女性だけで構成された炎太鼓の演奏は、



会場もどんどん熱気を帯びてきます。

そして6時半からはメインイベント「スーパーショー」です。特別ゲストには石川県白山市から「炎太鼓」を迎えました。第一部は私たち「和太鼓TOKARA」です。今年はツアーの多い年。地元でお披露目出来るのは、この日が唯一の機会とあり、力が入ります。400人を超える皆様が会場を埋めて下さいました。一曲目、演奏するのは7年ぶりとなる「火霧」です。曲の速さとバチさばき、振りの難しさに加



「火霧」での幕開け！

会場を埋めたお客様は大興奮です。3人の力強くエレガントで全てのお客様を魅了しました。あっという間の4曲の後、TOKARAと炎太鼓の演奏で「渚物語」のアンコールを。鳴り止まぬ拍手に、炎太鼓によるアンコールがもう一曲続きます。おかげ様をもちまして、今年のスーパーショーはとてとても熱いステージでした。ご来場下さった皆様、本当に有難うございました。

最後に、8年間この幸い下伊那に関わってきた私にとって本当に嬉しい出来事。この日の様子を伝えてくださった地元

新聞社。その記事の中に来場された男性からのコメントがありました。「飯田の人形劇フェスタの様なイベントになり得る可能性を感じた。来年も楽しみだ...。」というものでした。飯田の人形劇フェスタとは、私が子供の頃から市民ぐるみで続く世界的なイベントです。何も分からないところから地元の皆様に支えられこれまでやってきました。続けること発展させる事は簡単なことでは有りません。次に繋がる力が湧いて



沢山のお客様に来て頂きました。

飯田とアメリカの架け橋に ～ミズーリ大学ワークショップ～

7月、灼けるような暑さと蝉の声を聞き体全体で夏を感じます。そんな中私達はミズーリ大学の生徒さん方と共にワークショップを行いました。ミズーリ大学は、飯田で行われる人形劇フェスタに参加する為、毎年アメリカから来日されています。飯田には地域に昔から伝わる人形浄瑠璃が残っています。学生の皆さんはその浄瑠璃を学び、人形劇フェスタで披露する為に6月から一ヶ月半程飯田に滞在します。そして、その他にも、和の心に触れる一環として、華道や茶道、剣道などを体験します。和太鼓のワークショップも、3年間開催しています。



“TOKARA”と“炎”の渚物語!!

きます。力を与えて下さるコメント、有難うございます。そしてゆくゆくは本当に人形劇フェスタの様なイベントに発展させていけたら...新しい構想が湧いてきます。和太鼓を通して、海外と飯田を繋げる架け橋になることが私たちの使命だと思っています。来年は、和太鼓TOKARA結成10年。まだまだこれからです！ますます前進有のみ！精進有のみ!! 今後ともよろしくお願い致します!! (いちせゆかり著)



会場の皆が一体となってゲームなども。



また来年も宜しくお願い致します。

入った時に、皆さんから「何かオリジナルの掛け声にしよう！！」という提案が出ました。そして、日本の漫画の「ドラゴンボール」から、かめはめ波ー！という掛け声に決まり、皆で「かめは～め～波ー！！！」

『かめは～め～波ー！！』と、大きな声で、本当に大きな声で掛け合いました。時折大きな笑い声も混じりつつ、和やかな雰囲気ワークショップは進みました。また、とんばね太鼓の飛んで跳ねて入れ替わるパートでは、皆がお互いの顔を見て、笑顔で飛んで跳ねて叩いていました。真剣な顔



船に乗って次なる会場へ！！

今年は全部で5日あり、その中で私達は伝統曲の【ぶち合わせ太鼓】と【とんばね太鼓】を叩きました。学生の皆さんの有り余る元気をすべて太鼓に打ち込み、腕も脚もプルプルになるまで叩き続けました。ここでやはりポイントとなるのが腰を落とす事、和の心はここから感じてくださいと言わんばかりの勢いで、深く、深く腰を落として打ち込んで頂きました。そんな中、ぶち合わせ太鼓の、大きな声で掛け声を掛け合うパートに



皆さんありがとうございました！

もあれば笑顔もあり笑い声もあり、元気いっぱいの音が響き渡り、ワークショップは終わりました。

さて、いよいよ来月はスコットランド、エジンバラフリンジフェスティバルです。その内容はなんと驚きの一ヶ月間毎日演奏！休み無し！太鼓打ちとして幸せを感じずにはられません。その様子はまた次のニュースレターでお伝えできるかと思います。どうぞお楽しみに。(小野澤 貴史 著)

和太鼓TOKARA

私たち 和太鼓TOKARA の拠点、長野県飯田市に、風越山(ふうえつざん)という山があります。風が越えてくる山。風越(かざこし)。早朝、風に運ばれた霧が谷へ流れ込む情景は、山が羽衣を纏ったかの様に、厳かで美しいものです。

山脈の連なる長野県伊那谷の南に位置する飯田の地で、皆様に支えられ、新しいステージを作り上げ、練習を積み、また次の公演へと旅立つ。海外での公演ツアーが増えるこの数年、私たち TOKARAのエネルギーの原点がここにあります。

風雨に耐え、堂々と美しく聳え立つこの山の様に、それぞれの節目の年を越え、これからも力強く太鼓人生を歩んでいきます。

和太鼓 TOKARA の色として、私たちがこれまで作り上げてきた力強く流れる様な身体表現と、様々なリズムを融合したジャズの様でもある音楽の世界を、ぜひ体感して頂ければと思います。

「風越(かざこし)」2013-2014 世界ツアー
詳細は www.tokara.net/kazakoshi をご覧ください。

WADAIKO TOKARA

和太鼓TOKARAのステージは、伝統的な和太鼓に、中国武術、舞踊の流れるような曲線的動作を取り入れた独自の振り付けと、その驚異的なスピードとパワーが融合し、観る者を虜にする。常に新しい楽曲演奏スタイルを探索し、全く新しいTOKARA流パフォーマンスを創り上げる。世界の様々なリズムを取り入れ、複雑に重なりあったリズムが創り出す斬新な音楽は、ジャズの様でもあり、聴く者を魅了する音楽性の高さが注目されている。

リーダー兼 芸術監督であるアート・リーは、現在の太鼓界をリードするトップ奏者の一人として活躍。2001年、ソロ奏者として、世界で初めて日本政府より芸術ビザを取得。以来、現在に至るまで唯一の外国籍和太鼓アーティストとして日本はもとより、世界に活動の場を広げる。又2005年には、最も権威ある『東京国際和太鼓コンテスト・太太鼓部門』において、外国人初、唯一となる最優秀賞を受賞。

2014年 日本ツアー

岐阜県高山市、愛知県名古屋市、長崎県五島列島小値賀島
長野県飯田市、長野県伊那市 他

詳細は: www.tokara.net/kazakoshi



WWW.TOKARA.NET

WADAIKO 遙 TOKARA



お問い合わせ
和太鼓TOKARA

395-0826長野県飯田市
松尾水城3598 B-202

TEL/FAX: 0265-59-8768
Email: info@tokara.net
もしくは

wadaiko.tokara.japan@gmail.com
ウェブサイト: www.tokara.net

これ迄のニュースレターをご希望の方は
[Tokara Newsletter subscription site](#)

初CD「Toward the Undiscovered Country~
未知の世界へ~」

収録曲数 8曲 収録時間 58分

リンクと試聴 [http://www.tokara.net/info/
ttuccd-jp.html](http://www.tokara.net/info/ttuccd-jp.html)

以下にリンクして頂けますと、ツアーの様子
などが動画や写真でご覧頂けます。

Performance Schedule
Tokara on YouTube
Tokara on Facebook
Tokara on Twitter

皆様のご声援 本当にありがとうございます。
TOKARAメンバー一同、益々精進して参ります。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。
和太鼓アーティスト アート・リー
和太鼓TOKARA